

先週のマーケット動向(9月23日～10月1日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,183.0	1,188.7	1,171.9	1,188.7	+13.7
JPY/KRW	10.7722	10.7970	10.5767	10.6955	+0.001
KOSPI	3,123.64	3,146.86	3,015.01	3,019.18	▲121.33

(Source: SMBS, Bloomberg)

先月 23 日からのドル/ウォン相場は上昇した。22 日海外時間の FOMC にて 2022 年半ばでの利上げ開始予想が示されたことで市場全体でドル買いとなり、23 日は 1,183.0 にてオープン。この水準では実需のウォン買いが入ったほか、当局による介入と思われる取引も観測され、ドル/ウォンは上値の重い展開。さらに、デフォルトの懸念が意識されていた中国不動産企業に対し、中国政府がデフォルトを回避するよう指示したとの報道もあり、市場のリスクセンチメントは回復し 24 日には 1,171.9 まで下落した。しかし、その後は米長期金利が上昇する中、市場全体でドル買い優勢となりドル/ウォンは上昇。当局によるウォン買い介入や月末の実需のウォン買いもあるものの、全体として底堅く推移した。また、パウエル FRB 議長が足元のインフレ高進について、一過性ではありつつもしばらく続くとの見方を示したことも、ドル買い要因となった模様。結局、先週末対比 13.7 ウォン上昇の 1,188.7 ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は方向感に乏しい展開を予想する。足もとの米長期金利の上昇はいったん収まりつつある一方で、FRBによる早期利上げ懸念は残り続けており、市場全体ではドル買い圧力が働きやすい状況が継続しよう。一方で当局によるウォン買い介入は断続的に観測されており、ドル/ウォンの一方的な上昇は防ぎたいところだろう。さらに10月12日にはBOK金融通貨委員会が控えている。かねてよりBOKは年内利上げを示唆しており、10月利上げの可能性も相応にあることから、週後半にかけてドル/ウォンの上値を抑える要因となろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1175 ~ 1200	10.65 ~ 10.95	109.0 ~ 111.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 23日(木) 欧 9月 サービス業PMI 速報値
- 米 9月 サービス業PMI 速報値
- 米 9月 製造業PMI 速報値
- 欧 9月 製造業PMI 速報値
- 24日(金) 日 8月 CPI
- 米 8月 新築住宅販売件数
- 27日(月) 米 8月 耐久財受注 速報値
- 28日(火) 米 9月 カンファレンスボード消費者信頼感指数 速報値
- 30日(木) 日 8月 鉱工業指数 速報値
- 米 2Q GDP 確定値
- 中 9月 製造業PMI 速報値
- 中 9月 非製造業PMI 速報値
- 1日(金) 米 8月 個人所得
- 米 8月 個人消費
- 日 8月 失業率
- 米 9月 ISM製造業景況指数 速報値
- 日 3Q 日銀短観